

さんぽくまちづくり通信

第 4 号

発行 山北地区まちづくり協議会

発行日 平成 25 年 (2013 年) 2 月 15 日

事務局 村上市 山北支所 地域振興課 自治振興室 (住所) 〒959-3993 新潟県村上市府屋 232
(TEL) 0254-77-3111 (FAX) 0254-77-2217 (E-mail) s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

笑顔でつながる まちづくりの心



皆さんの参加が・・・協議会・集落の元気づくりにつながります

皆さんに「まちづくり協議会」の活動をお知らせしながら“思い”を共有したい、ということで発行してきたこの『まちづくり通信』も第4号になりました。

設立から一年を迎えようとしている「まちづくり協議会」ですが、“何者”か、少しは覚えていただけましたでしょうか。

今回は設立からの一年を振り返りながら「まちづくり協議会」の取り組みを紹介します。

“山北地区の元気づくりは集落の元気づくりから”ということで、集落公民館活動への支援助成金 (35 公民館、218 万円) の交付ほか、これまでの「魅力ある集落づくり事業」を継承した「集落の元気づくり支援事業」で 13 集落 25 事業に対して 162 万円の助成金を交付し、集落

が元気になるお手伝いをさせていただきました。

また、これからの活動の参考にするため、まちづくり協議会委員の皆さんで視察研修も行いました。

今年度は山北地区全体で取り組む事業などがなかったため“まちづくり協議会って何だや”という方もまだまだ大勢いらっしゃるかもしれませんが、11月の住民懇談会で皆さんからご意見などをお伺いした『まちづくり計画』もようやく素案としてまとめ、4月からは地域の皆さんにも参加していただきながら取り組む事業もたくさん計画しています。皆さんに活動に参加していただくことが「まちづくり協議会」の元気づくり、集落の元気づくりにつながります。皆さんの参加をお待ちしています。



まちづくり協議会の活動に期待しています

軽トラ市が楽しみ！



大谷沢集落
本間廣子さん

退職してから味噌などの加工食品や野菜の販売を始めました。販売の収入よりも野菜を買ってくれる人との会話が楽しいんです。大勢のお客さんとコミュニケーションしながら販売もできる軽トラ市が楽しみです。

周知方法も大切！



中継集落
板垣 充さん

集落で行うイベントのチラシ配りなどは、大勢集まるよう実行委員が集落の人に手渡しをし、留守ならもう一回行きます。協議会の事業にも参加したい人はたくさんいると思うので、周知の方法を工夫して皆さんをどんどん巻き込んでください。

伝統芸能のイベントを！



府屋集落
國井一伸さん

日本国太鼓保存会は来年30周年を迎えます。子どもの頃に太鼓を経験したり、観てくれた人が今の会員ですが、マンネリ化や後継者不足に困っています。伝統芸能のイベントや子ども達が体験する場を提供してもらえたら嬉しいです。

トコトをつなぐ人材を！



北黒川集落
齋藤玲子さん

山北には個々に頑張っている人がたくさんいます。でもその人たちをつないでくれる人がいません。山北の良さを外に発信するためにも、協議会にはぜひ、人と人をつなぎ、コーディネートしてくれる人材育成をして欲しいです。

【集落の元気づくり支援事業の実践事例紹介③】

今年度実施された取り組みから、越沢ふるさと創越会の「城山遊歩道整備事業」を紹介します。かつて越沢城としての役割を担った「城山」は、越沢集落の背後に位置し、頂上からは集落が一望できます。平成10年に頂上までの遊歩道が完成し、気軽に登ることができるようになったことから、集落外からも愛好家が訪れています。

みんなが安心して登れるように！



越沢ふるさと創越会
齋藤 幹雄 さん

越沢ふるさと創越会では、集落の大切な宝である「城山」に遊歩道を整備し、みんなが安心して歩けるように階段の設置や取り替えなどの管理を行っています。集落のシンボルとして、これからも大切に守り続けていきたいと思っています。



一層の山北のPRを



桑川集落
渡辺美紀子さん

山、川、海と観光資源が豊富な山北も、それぞれが「点」であるため来訪者に知られない魅力がたくさんあると思います。山北の良さを「点から線」にする取り組みで、より一層の観光PRにつなげてほしいですね。

何事も粘り強く!



下大蔵集落
齋藤昭夫さん

魅力ある集落づくりで始めた「あじさい祭」を長く続けてきたおかげで、今の集落のつながりがあると思います。協議会の皆さんの事業も長い目で粘り強く続けていくことで、事業としての深まりが出てくると思います。

25年度から本格的に始まる「まちづくり協議会」の取り組みに対する地域の皆さんの『声』を紹介しました。

「まちづくり協議会」の取り組みに期待しているという『声』をたくさんいただき、うれしさの反面、期待に応えることができるよう、しっかり取り組まなければならないと、改めて気持ちを引き締めているところです。

地域に対する考え方や取り組みは人それぞれ異なりますが、『地域を良くしたい、山北が好きだ』という『思い』はみんな一緒であると感じました。

一人ひとりの思いを一つにつなぎ、みんなのためになる「まちづくり協議会」に早くになりたいと考えています。



【山北の暮らし① 賽の神】

「様々な賽の神!でも思いは同じ・・・」

賽の神は、門松をはじめとしたお正月の飾り物や古いお札などを集めて燃やし、お神酒やスルメをいただきながら集落や家庭の無病息災を願う昔ながらの風習です。

現在山北地区では32集落で行われています。集落によっては呼び方が「どんどん焼き」や「さいど焼き」、「さいど様」など違いも見られます。

温出集落では結婚した人、孫ができた人が男根の形をした30センチほどの棒を持ち、子孫繁栄を願って舞いをするそうです。

また、雷集落では、子ども育成会で雪道にろうそくを点灯させ、かまくらを作ってその中にお供え物をし、子どもたちで分け合って楽しく食べます。また、子どもたちが家々を回って集めたワラを燃やし、火柱がまっすぐ立つと「今年は豊作だ」と言われているそうです。

やり方は様々でも「今年も1年よろしくね、と顔を合わせる大切な機会なんです。」と皆さんの思いは同じようです。



全11世帯が参加! 芦谷集落の賽の神

《協議会の今後の活動予定》

※日程等は変更になる場合があります。

- 3月4日 助成金交付等審査会
まちづくり協議会役員会
- 3月17日 地域づくり楽習会
- 4月8日 まちづくり協議会通常総会

※集落の元気づくり支援事業、地域づくり団体等支援事業の25年度の助成金申請は2月8日で終了しました。提出漏れ等があった場合は、至急まちづくり協議会事務局へご連絡ください。

みんなで **楽しく学習する会** **地域づくり楽習会に集まれ!**



地域の皆さん全体を対象とした取り組みの第1弾「地域づくり楽習会」を開催します。山北地区の地域づくりを進めるため、今一度、地域を知ることから始めたい、そして、山北地域を元気にしたい、そんな思いから、今回の楽習会を企画しました。

大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。

日時：平成25年3月17日（日）午後1時30分～
会場：さんぽく会館（村上市府屋）

《第1部》地域への「思い」

1. 地域づくりの実践事例紹介

山北地区では、今、どのような取り組みが行われているのか、いくつかの集落や団体の皆さんに、取り組みの成果や苦労話などを交えてご紹介いただきます。

《参加予定団体》

- ①大代ユートピア21委員会
(ミズバショウ公園の整備)
- ②大毎集落づくり委員会 (名水まつりなど)
- ③夢21・さんぽく塾
(スノーマンがやってきた!)
- ④さんぽくごっつお物語協議会
(スローフードフェスタなど)
- ⑤スクールあいネットさんぽく
(小・中学校との協働事業など)

《第2部》地域の「魅力」

1. パネルディスカッション

山北とはどういうところ？山北に感じる魅力は？山北地域に縁のある人が、感じたままの「山北」について熱く語ります。我々の日常生活にあたりまえにあるものが、実はすごい魅力を持っていることに気づいていますか？この機会にもう一度山北を見つめなおしましょう。

2. 意見交換

パネリストの皆さんと会場の皆さんでの意見交換の場です。お話を聞いて感じたことなど、自由に発言しながら地域づくりをみんなで考えましょう。



楽習会の協力団体から・・・ **さんぽくごっつお物語協議会**

私たちの協議会は、山北の豊かな自然から生まれる「食べ物」をテーマに、春、秋の「スローフードフェスタ」や小、中学生への料理の指導を通して、地域づくりに取り組んでいます。今回の楽習会では、山北の食材を活かした『一服のお菓子』を皆さんに食べていただき感想をお聞きしたいと考えています。ぜひ、おいでください。



編
集
後
記

中国の故事に「先ず隗より始めよ」ということばがあります。遠大な事業や計画を始めるときには、まずは手近なところから着手するのがいいというたとえです。このたとえは、いよいよ来年度から本格的に始動する「まちづくり協議会」の各種の事業展開にも当てはまります。

『住んでよかったと思える地域【集落】作り』に向けて、大勢皆さんの参加をいただきながら、身近なことから一緒に頑張りましょう。

